



平成24年3月16日

各位

会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
コード番号 1712 (東証・名証各第一部)
問合せ先 取締役企画管理本部長 村上 実
電話番号 052(611)6350 (代表)
当社の親会社 株式会社 ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 伊藤 博之
コード番号 9793 (東証・名証各第一部)

通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年9月7日に発表いたしました平成24年2月期(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)の通期業績予想および平成23年4月13日に発表いたしました期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 通期業績予想の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,984	474	461	272	4,543 70
今回修正予想(B)	7,227	408	400	209	3,491 30
増減額(B-A)	243	△66	△61	△63	—
増減率(%)	3.4	△13.9	△13.2	△23.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年2月期)	5,229	127	146	44	748 29

(2) 修正理由

国内経済は、一進一退が続いておりますが、本年前半につきましては、年明け以降首都圏を中心に不動産の動きがやや活発化してきたことに伴い、土壤汚染対策市場においても当期の期首以降、見積件数が増加するなど回復傾向がうかがわれるようになってまいりました。また、東日本大震災の影響が一時的に懸念されましたが、土壤汚染対策市場は概ね順調に回復傾向を示しておりました。

しかしながら下期に入り、首都圏の不動産の動きについては大きな変化はないものの、それ以外の地域では回復傾向も一巡し、加えて設備投資の動きが下降気味に推移してきたことにより、土壤汚染対策市場も回復傾向が一転し不透明な状況となってまいりました。

そのような状況の中、積極的な受注活動を展開するとともに、引き続き原価低減を推し進めてまいりました。その結果、売上につきましては、本年前半の好調に支えられ、平成24年2月期の業績予想を上回る見通しとなりましたが、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、受注案件が減少する中価格競争が一段と厳しくなったことが影響し、予想数値を下回る見通しであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 期末配当の修正

	年 間 配 当 金				
	第一四半期末	第二四半期末	第三四半期末	期末	合計
前回予想 (平成23年4月13日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 400.00	円 銭 400.00
今回修正予想	—	—	—	600.00	600.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年2月期)	—	0.00	—	400.00	400.00

(2) 修正理由

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当期純利益につきましては、上記のとおり平成23年9月7日発表の予想には若干届かない見通しではありますが、平成23年4月13日発表の当初予想は上回る見通しであります。

上記基本方針に照らし、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、期末の配当予想を400円から600円に修正させていただきます。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上